

事務事業名		狂犬病予防事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)			
政策体系	基本目標	1 地域の特色を活かした快適なまちづくり					事業区分	担当	担当部	市民生活部	担当課	環境政策課	
	政策	3 環境にやさしいまちづくり						担当組織	担当係	環境政策係	担当課長名	川俣 浩	
	施策	2 良好な生活環境と豊かな自然環境の保全						新規事業・継続事業	継続事業				
	基本事業	1 良好な生活環境の保全						実施計画事業・一般事業	一般事業				
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名							
	7690	一般	4	1	5	狂犬病予防事業							
	事業計画	単年度繰り返し	事業期間	年度～	年度	根拠法令 条例等	狂犬病予防法						
							市単独事業・国県補助事業	市単独事業					
							任意的事業・義務的事業	義務的事業					
							実施方法	直営					
							事業分類	健診・予防事業					
							リーディングプロジェクト	該当なし					
							市長マニフェスト	該当なし					

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)												
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)						平成28年度実績(平成28年度に行った主な活動内容)						
狂犬病の発生を予防し、公衆衛生の向上を図る。また犬の正しい飼い方の啓発を行うことにより、人と動物の調和のとれた地域社会の実現を目的とする。 事業内容は、狂犬病予防注射時及び窓口での注射済票の交付、犬の鑑札の交付。						飼い犬の新規登録の受付、鑑札の交付 狂犬病予防集合注射の案内・受付、注射済票の交付 犬の飼い方等の啓発						
活動指標						単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (見込)	
飼い犬の登録						件	6,917	6,829	6,618	6,566	6,814	
予防注射数						頭	4,960	4,825	4,704	4,511	4,720	
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)												
飼い主 市内の犬						対象指標	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (見込)
飼い主の数						人	6,614	6,529	6,318	6,266	6,514	
飼い犬の数						頭	6,914	6,829	6,618	6,566	6,814	
目的 ③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)												
狂犬病の感染防止 狂犬病予防注射を受けさせる。						成果指標	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)
狂犬病の犬の数/登録している犬の数						%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
予防注射数/登録している犬の数						%	72	71	71	69	72	
④結果(どのような結果に結びつきますか?)												
良好な生活環境が維持されている。						上位成果指標	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)
近隣公害苦情件数						件	271	246	271	232	180	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)					
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円	2,705	1,729	1,701	1,585	2,019					
	一般財源	千円										
	事業費計(A)	千円	2,705	1,729	1,701	1,585	2,019					
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費		
			11需用費		11需用費		11需用費		11需用費			
			001消耗品費	327	001消耗品費	383	001消耗品費	325	001消耗品費	319	001消耗品費	394
			12役務費		12役務費		006修繕料	50	12役務費		12役務費	
			001通信運搬費	433	001通信運搬費	417	12役務費		001通信運搬費	402	001通信運搬費	520
			001業務委託料	73	13委託料		001通信運搬費	405	13委託料		13委託料	
			005保守委託料	63	005保守委託料	65	13委託料		005保守委託料	65	005保守委託料	65
			014徴収委託料	885	014徴収委託料	865	005保守委託料	65	014徴収委託料	800	014徴収委託料	1,040
18備品購入費	924			014徴収委託料	857							
人件費	正規職員従事人数	人	8	8	8	8	8					
	のべ業務時間	時間	500	500	500	500	500					
	人件費計(B)	千円	1,946	1,971	1,947	1,921	1,921					
	トータルコスト(A)+(B)	千円	4,651	3,700	3,648	3,506	3,940					

事務事業名	狂犬病予防事業	担当部	市民生活部	担当課	環境政策課	担当係	環境政策係
-------	---------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3)事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	狂犬病の発生とまん延を防ぐため、昭和25年に狂犬病予防法が施行され、犬の登録や予防接種が行われるようになったと思われるが、市がそれらの事業に対する権限移譲等をどの時点で受け、いつから行っているかは不明である。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成19年度、輸入感染により2名死亡。国内では昭和31年以降発生していない。室内でのみ犬を飼う人が増加し、登録や注射の必要性を認識していない人が増えている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	狂犬病に対する市民の意識は低い。

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	4月1日号「広報さの」に集合注射の記事を掲載して周知を図った。 直接飼い主へ注射のはがきを送付しているが、10月にも未接種者へはがきを送付し、再度啓発を行った。 環境衛生委員協議会発行の広報紙「クリーンクリンさの」にも記事を掲載し、周知を図った。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	飼い犬への狂犬病予防注射で、狂犬病の発生とまん延を防止することは、良好な生活環境を維持することになるため、政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	登録と注射済票の交付は、狂犬病予防法に基づき、市に義務付けられているため。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	飼い主は、登録と狂犬病予防注射の接種が法律で義務づけられているため。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	本市における狂犬病予防注射接種率は、県の目安とする70%を超えている。、予防注射の啓発と集合注射の周知を行うことができれば、接種率を向上させることができる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名 *類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	必要最小限の事業費と人件費で実施している。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	飼い主は、犬の登録、狂犬病予防注射済票交付の手数料を負担している。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 狂犬病ウィルスが撲滅され、狂犬病予防法が改正または廃止されれば、終了することができる。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1)今後の事務事業の方向性	(2)改革・改善による期待効果	(3)改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																		
事業のやり方改善(成果向上の見直し) *評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 狂犬病予防注射の周知	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	○		維持		×	低下	×	×	広報さの、狂犬病予防注射のはがきを通じて、周知の徹底を図る。
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上	○																		
	維持		×																	
	低下	×	×																	